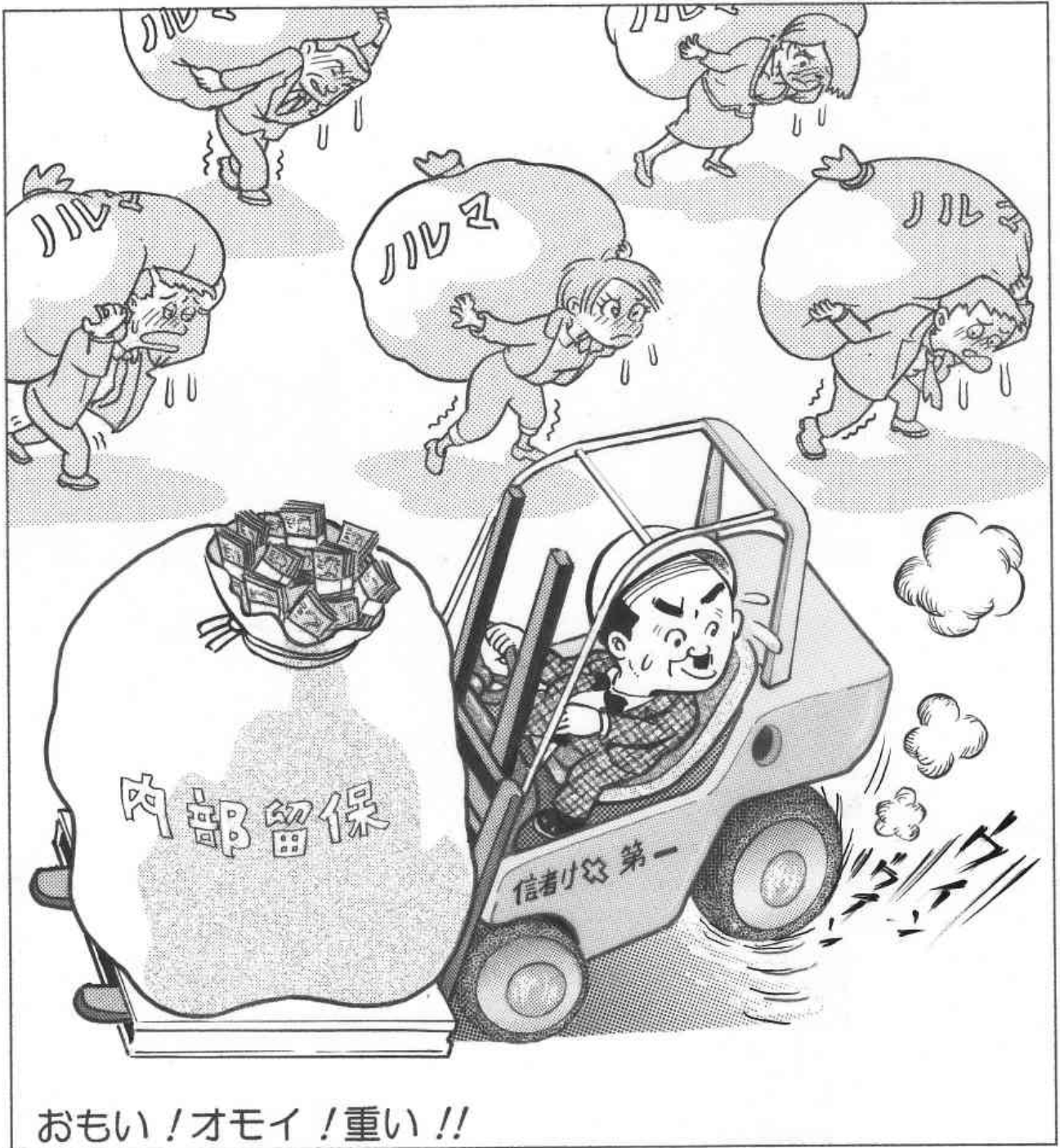


# 月刊 JMITU 労者生活



おもい！オモイ！重い！！

3月号

日本金属製造情報通信労働組合大田地域支部  
セガ グループ分会 2019年発行

No.411

## 2019年春闘賃上げ・一時金回答なし

### 賃上げ・一時金回答は早くて3月末

### 赤字にはなっていないが下方修正している

赤字ではないが

下方修正している。

3月6日私達労働組合は、会社と団体交渉を行い、春闘・夏季一時金要求に対する会社の回答がありました。

会社「第3四半期の発表どおり、当初の予定より良くない、赤字にはなっていないが、下方修正している。CS海外は売れている開発コストもかかっている。AM施設は堅調に推移し、AM機器はBPギリギリ、デジタル分野は減損を行う。

そのような状況の中で、2年間続けた、係数1.75プラス

費用なのか」

会社「70億円は開発費用で、リストラを行うための費用ではない。」

0.5は厳しい、昨年行った定期昇給とベアあわせて3%の賃上げについても厳しい。

回答については、赤字ではないが係数が決算に影響するの時間で時間がかかる早くても今月末にならないと回答できない。初任給については、組合の要求基準を高卒は満たしている、大卒についても多少足りないくらいでは満たしている。」

組合「BPが達成できないのは労働者のせいなのか、そもそもBPを立てたのも経営側で私達労働者が認めたものでもない、しかも赤字でないのならば問題ないではないか。デジタルの約70億円の損失は、今後リストラを行うための

費用なのか」

引き続き組合HPにて

春闘アンケート継続中

アンケート一部回答抜粋

「時短勤務者に、フレックスを適用してほしい、自宅作業を認めてほしい。」

「役職が詰まっているので昇格できない」

「仕事を一生懸命こなしても評価されないのでヤル気が起きない。」

「勤務地を郊外に移転」

皆さんの声を出来るだけたくさん会社に届ける為に、無記名ですので気軽に御回答よろしくお願いします。

要求ではあげられなくとも会社との交渉時話すことが出来ます。

セガグループだけではなくセガサミーグループの方も構いません是非回答を！

次回団体交渉3月20日(水)

## 雇用が増えた？

### 7割超が非正規

## 雇用増7割超が非正規で 景気回復できるの？

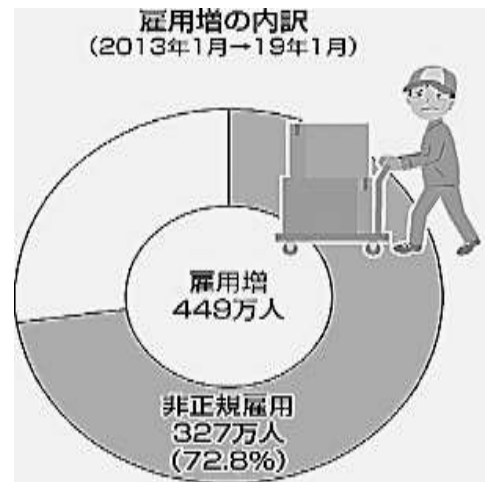
非正規雇用が急増しています。2019年1月の総務省「労働力調査基本集計」によると、役員を除いた雇用者に占める非正規雇用労働者は38.3%と、18年12月に続いて調査開始以来、最高となりました。

総務省が「労働力調査基本集計」で雇用形態別の雇用数を集計するようになったのは13年1月からです。それまでは雇用形態別雇用者数は四半期ごとに出される「労働力調査詳細集計」でしか集計されませんでした。

役員を除いた雇用者数は13年1月の5179万人から19年1月は5628万人へと449万人増加しました。そのうち、非正規雇用の増加数は327万人を占めます。

増えた雇用の72.8%が非正規雇用だったことになりました。

非正規雇用は多くの場合、低賃金であるのに加え、間接雇用で、雇用期間に定めがあるなど不安定な就労状況にあります。労働者派遣法を改悪し、非正規雇用を増やしたのが安倍晋三政権です。安倍政権はアベノミクスで雇用が増加したと自慢しますが、内実は不安定な非正規雇用の増加です。



## 増える高齢労働者

安倍政権下の6年間で増えた就業者のうち7割は65歳以上の高齢者です。

高齢者が年金だけで生活できずはたらかざるを得ない一方で、企業が低賃金の定年退職者の再雇用を増やしてきました。「賃金を抑えたい企業と、政府の年金切り下げ政策で働かざるを得なくなった高齢者の「マッチング」によって雇用が増えただけです。

## 景気回復のためには身分の安定化が必要

非正規雇用が増え続け、それに伴い貧困化も進み、日本社会の社会的格差が広がっています。

非正規雇用の収入で家計を支える労働者が増えていますが企業がコストカットの為に非正規を増やした結果、低い年収で生活を強いられるために当然、生活に余裕など有りません。景気回復の鍵を握る消費購買力が低下するのは当然です。正規労働者を増やし、消費をしてもらう、税収を確保する、儲けた企業からは大企業減税ばかりではなく、儲けた分の税金を払ってもらおうあたりまえの事をすることが求められます。

## セガ過去14年間の賃上げ、一時金 毎年低額昇給・一時金このままでいいのか？

下記に、セガ一般社員13年間(2005年～2018年)の賃上げ、一時金の平均支給額を表にまとめました。13年間で昇給の合計は76362円(ベアを入れると、80682円)平均すると毎年約5874円の昇給がされていることとなります。(分社後はセガ・ホールディングスの賃上げ、一時金額)

単純に賃上げ平均を足しただけなので実際には、査定、家族手当、昇格、新人事制度の上限に達した場合など細かい点では個々で変わってきますが、ここ数十年の低額賃上げや新人事制度導入で、10年前の年齢に対する賃金よりは明らかに下がっています。

私たちJMITUは春闘要求とは別に統一要求として以下の要求を会社に提出しています。

- 1、「すべての仲間の賃上げ」の取り組み、すべての仲間の賃上げを実現する事は労働者の切実な要求です。また継続雇用や派遣・臨時・パートなどすべての労働者が家計を支える大切な担い手であり、仕事の上でも重要な責任と役割を負っています。非正規雇用労働者を含めたすべての仲間の賃上げは労働者の生活を安定させ、やる気を引き出し職場の活力を生み出すことになり企業でもプラスになります。
- 2、「人手不足」が深刻になるなか、人材を確保するうえでも、技術・技能の継承を行い企業の将来展望を作るうえでも初任給の引き上げが多くの企業で重要になっています。また経験スキルを持っている継続雇用者に力を発揮してもらう為にも継続雇用者の大幅賃上げが必要です。こうした立場から、初任給、継続雇用者の賃金大幅引き上げを求めます。
- 3、「均等待遇」は時代の大きな流れです。この間の法改正や裁判の判決でそれは明らかです。労働基準法は、男女同一賃金の原則を定めています。「パートタイム・有期雇用労働法」では有期雇用労働者の不合理な労働条件・処罰の差別を禁止しています。これらの規定の趣旨にもとづき性別による格差や非正規労働者の賃金と労働条件、処遇の格差をただちに是正することが求められます。また、派遣労働者は直接の雇用関係はないものの、派遣先の指揮命令のもとで働いており、その賃金は派遣先と派遣元の契約によって大枠が決まります。派遣先が労働者の賃金に反映させることを前提に派遣契約料金引き上げる事はその気になれば可能です。労働組合の要求にもとづいて派遣労働者の賃上げや一時金を実現させることを要求します。
- 4、年齢別最低保障賃金を下記のとおりとすること。  
25歳 240,000円以上 35歳 350,000円以上  
45歳 400,000円以上 55歳 430,000円以上  
定年継続雇用者 310,000円以上  
企業内最低賃金を月額 185,000円以上 時間額1200円以上とすること  
私たちJMITUは年齢別の「最低生計費」を試算しました。

賃上げ要求額が高すぎると言われることがありますが、私たちの要求は生活実態をもとに要求額を決めています。今後、物価の上昇、消費税増税が控えています。大幅賃上げを行わなければ、消費購買力はますます落ち景気は後退します。業績が悪いからでは済まされません。

セガの過去14年間 昇給・一時金

	昇給	ベースアップ		夏季一時金	年末一時金	
2005年	¥4,764			¥596,429	¥596,429	2.20ヶ月
2006年	¥6,218			¥716,772	¥716,772	2.45ヶ月
2007年	¥6,253			¥688,192	¥688,192	2.49(係数)
2008年	¥5,497			¥609,109	¥609,109	2.20(係数)
2009年	¥2,782			¥362,402	¥362,402	1.30(係数)
2010年	¥5,653			¥493,572	¥493,572	1.75(係数)
2011年	¥5,824			¥514,439	¥514,439	1.75(係数)
2012年	¥5,880			¥532,415	¥532,415	1.75(係数)
2013年	¥5,919			¥540,099	¥540,099	1.75(係数)
2014年	¥4,513	¥3,930	1.30%	¥542,416	¥542,416	1.75(係数)
2015年	¥6,066			¥560,210	¥560,210	1.75(係数)
2016年	¥5,566			¥562,509	¥562,509	1.75(係数)
2017年	¥5,803			¥755,891	¥587,915	1.75(係数)夏+0.5
2018年	¥5,624	¥4,320	1.35%	¥781,251	¥607,639	1.75(係数)夏+0.5

新人事制度導入



# 4こま漫画

川崎よしき



ショートショート

## 陽だまり

仙洞田一彦

「あの人、なぜあんなことを言っただんでしょうね」

「ええ」

語尾を上げて、田畑は妻の言葉に問いかけた。

三月に入って日差しがいつそう強くなったのを感じた。締め切ったガラス戸の内側にいると、まったく暖房はいらない。マンションの五階にある南向きの部屋で、ぬくもりを背に受けながら、田畑は足の爪を切っていた。身体が曲がらなくなり、年々爪切りを足先まで伸ばすのが億劫になって来た。声を掛けた妻は座卓を挟んで向かい側に座って、湯飲みを手にしていた。妻は

田畑の問いに答えた。

「この間の、出版のお祝いの時の話ですよ。何もああいいう場で、あんなことを言わなくてもいいでしょうにねえ。家族も、兄妹もいるというのにねえ」

「ああ、小川のことか」

妻に答えながら、またそのことかと思った。あれから一ヶ月近く経つが、気になららしく、妻は時折それを口にした。

「小川さんていうの、あの人」

「うん、小川」

たしか、前も名前を妻に教えていたはずだがと思いがながら、田畑は雪の舞う寒い日の、田畑が上梓した短編小説集の出版記念会のことを思い出した。小説を書く同人が本を出した時に恒例ともなっている

出版記念会で、小川は祝辞で、

田畑の本の表紙を爪はじきし、「へたくそな小説ばかり集めて、どうしようというのだ」と、言ったのだ。

妻が言うように、そこには田畑の親しい親族、友人もいた。田畑自身は、小川とは毎月の同人の集まりで顔を合わせているし、集まりの後ではいつも一緒に飲んでいる間柄だった。だから、出版記念会の出来事も、仲間内の悪ふざけくらいに受け取っていた。妻のように場所がらをわきまえない「祝辞」の内容だと言えなくもないが、年甲斐もなく羽目を外すことだってある。ましてや酒を酌み交わしている場所だ。言い過ぎのこともある。実際同人の集まりで、互いの作品を褒め合っていた

のでは、多少の励ましにはなるかも知れないが、勉強にはならない。率直に批判し合わなければ進歩しない。どちらかといえば真剣勝負なのだ。

そういう場の雰囲気を知らず、しかも初対面だった妻にしてみれば、ショックだったかもしれない。それも分かる。「前から、そういうところのある人なの」

「そういうところって」

「意地悪とか、嫌味な人とか。文学をやる人って、そういう癖のある人が多いでしょう。何かこう、言っている言葉に必ず裏があるような。そういう陰険な」

目を足の爪から、妻の方へ上げると、こころなしに睨んでいるように見えた。田畑は、妻の言葉が小川よりも、自分

に向けられているように感じた。言葉を重ねているうち田畑に向かつて来たのかも知れない。妻は時々この手を使う。他人のことを言っているように、実は俺に向けて言っている。

「俺もそうだといいのか」  
「そう聞こえた。おかしいわねえ」

妻は言うのと、座卓の上の急須を手にとると、何事もなかったかのように、自分の前の湯飲みに茶を注いだ。湯呑を覗きこんで、飲むでもなく、湯飲みを両手に包んで持ち、妻は続けた。

「僻みっぽい人なのかしらね。自分は本を出せないから」  
「いや、小川はもうずっと前に出しているし、出版を祝う会をみんなでやっている……」

あつ」

田畑は言って、もう何年たっているか分からないが、その時のことを思い出した。

「あ」  
「何を思い出したの」

田畑は爪の載った紙を脇によけて立ち上がり、本棚のある部屋に行き、小川の本を抜いてほこりを払った。部屋に戻ると座卓の上に置いた。同人雑誌に載せた小川の小説を集めたものだから、中身は本になる前に既に読んでいた。くすんだ感じはするもの、開いたことのない本だった。  
「ふうん」  
妻は田畑が置いた本を手にも取らず、表紙だけを眺めて言った。  
「俺が、この時言ったんだよ。へたくそな小説を本にしてど

うするんだ、って。そう、小川がこの間やったように、表紙をつま弾きして。そう、彼奴は憶えていたんだ」

妻は声を立てずに笑った。  
そして言った。

「自分が先にやっていたんだ。仇を取られたっていうわけか。そうよねえ、小川さんのような人が、あんなこと言うわけないわよねえ。見た感じおとなしそうな人だもの。あなたなら言いそうだけど」

「なんだよう。この間は小川のことをずいぶんひどい人、非常識な人だと言っていたじゃないか」

「あなたの方が先だったなんて知らなかったからよ。ずっと引っ掛かっていたのよ。その人の体全体から受け取る印象というのがあつたでしょう。」

ああ、あの人ならああいうことを言いそうだとか。でも、小川さんがあんなことを言う人なんだって、ちよつと意外だったのよ。あなた自分のやつたこと忘れていたんだ。あなたって、そういう人よ」

「何を言うんだ。いじめる方は憶えていないが、いじめられた方はいつまでも憶えているって、言うだろう」

田畑の言葉を聞いて、近頃丸さを増した妻は、身体を震わせるように笑った。

「弁解したつもりなの。それを小川さんが言うなら分かるけど、あなたが言うのっておかしい」

「ま、そりゃ、そうだ」  
田畑はあっさり認めたものの、この話は当分、蒸し返されそうな気がしていた。

## 許せない低額回答

13日の大企業各社の春闘回答は、昨年を下回る低額回答でした。実質賃金低下に加えて食料品などの値上げが相次ぐなか、労働者の生活改善と景気回復にほど遠いものです。大企業は巨額な内部留保をため込んでいるにもかかわらず低額回答となり、大企業がもうかれれば労働者にも回ってくるというアベノミクスの破綻を示しています。

資本金10億円以上の大企業には425兆円もの内部留保がため込まれています。このごく一部を労働者の賃金や、中小企業の下請け単価引き上げへまわせば、労働者の生活も日本の経済も良くなります。

JMITUは、春闘回答指定日の6日、全国60支部分

会で回答が出ています。回答は組合員平均で6,394円(2・19%)、支部分会平均で5,646円(1・98%)。

業績がいいところでも回答を抑えているところ、業績悪化で極端に下げたところや回答延期もあります。JMITUは労働者の生活を無視した低額回答に対し7日、各地で抗議の統一ストライキを決定しました。私たちセガ分会も一部ストライキに入りました。

私たち労働組合は、今年こそ大幅賃上げを目指して19春闘に取り組んでいます。



## 労働組合に

入りませんか！

職場でいじめ(パワハラ)をうけている・自由に休みがとれない・残業代が支払われない・突然会社から解雇と言われた・賃金が上がらないなど、職場での悩みはありませんか。そんなときは一人で悩まずに、私たち労働組合にご相談ください。

私たちJMITU(日本金属製造情報通信労働組合)は、全国組織の労働組合です。正社員でなくても、パートやアルバイト、派遣社員の方でも加入できる組合です。働きやすい職場をつくるには労働組合が必要です。ぜひ職場に労働組合を作りましょう！

労働相談、ご意見、ご質問は、下記にお寄せください。

JMITU 本部 TEL 03-5961-5601 : FAX 03-5961-5603

ホームページ <http://www.jmiu.com/>

JMITU 大田地域支部 TEL 03-3734-3502 : FAX 03-3734-3534

ホームページ <http://www6.plala.or.jp/JMIUOTA/>

セガグループ分会ホームページ <http://jmitusega.chips.jp/>